



都会の川も、「住めば都」です

さんぽ

vol. 2

50歳からの東京散歩

隅田川テラス
木場／佃島／浦安
日本橋川
野川／玉川上水
多摩川／水郷田名
手賀沼／印旛沼
武蔵水路……etc.

- 「おはしより」のカタチ 松沢呉一 ●散歩ノートの作り方 神田ばん
- 名前に通ずる散歩道——下高井戸から太宰治へ 野火 迅
- 落語を歩く——「佃祭」の巻 高野ひろし
- 水辺の建築ツウ 大島健二 ●東京音楽地図——ブラジル音楽 常田カオル
- 下総松崎ナイトウォーカー 中野 純・中里和人

大人のための首都圏散策マガジン

昔女歩の達人 MOOK

定価880円(税込)

どこまでも清らしく！
うるわしの水辺20コース

昔女歩の達人 テーマ版MOOK

50歳からの東京散歩 vol.2 水辺さんぽ

平成22年8月19日発行
発行人 山根昌也
編集人 武田章人

発行所 交通新聞社

〒107-0083 東京都千代田区麹町6の6 麹町東急ビル
編集部 03-5216-3915
販売部 03-5216-3217

交通新聞社



自然と、水入らずの関係。

スリムで広視野、そして防水仕様。新生・スポーツスターEX。

アウトドアで使用する双眼鏡に、必要なこと。まず、コンパクトであること。
ワイドな視野を持っていること。そして何より、突然の雨や水しぶきに負けないこと。
「スポーツスターEX」は、本体内部に窒素ガスを充填した本格防水仕様*。
デリケートな光学系の内部を、曇りやカビの発生から確実に保護します。
性能・お求めやすさはそのままに、防水性を兼ね備えた「スポーツスターEX」、新登場。
*2mの水深に5分間浸かっても影響のない防水設計。

Sportstar EX

●スポーツスターEX 8×25D CF ¥14,000 (税込¥14,700) ●スポーツスターEX 10×25D CF ¥16,000 (税込¥16,800) *価格は、希望小売価格(ケース、ストラップ付き)です。

株式会社 **ニコンビジョン** 電話 (03) 3788-7691 営業時間 9:00~17:30 (土・日曜日、祝日を除く毎日) www.nikonvision.co.jp/
資料請求先 ○詳しいカタログをご用意しています。機種名、雑誌名を明記の上、〒142-0043 東京都品川区二葉1-3-25 株式会社ニコンビジョン宛ご請求ください。
※なお、ご提供いただきました個人情報はカタログ送付のためのみに利用させていただきます。



9784330150109



1929426008386

雑誌65022-92 (旅の手帖ムック) 定価: **本体838円** + 税
©2011年8月

ISBN978-4-330-15010-9
C9426 ¥838E

日本橋川・亀島川

静かな電動式ボートで川旅を楽しむ。
ガイドとともに日本橋川の常盤橋から隅田川へ下り、
亀島川を経て出発点に戻る道中は、新発見と驚きの連続だ。

全 身を揺さぶるような振動や耳を
突く排気音はまるでなし。驚く
ほど静かに電動式のエコボートは棧橋
を離れた。江戸東京再発見コンソー
シアムが主催する「お江戸日本橋舟めぐ
り」のスタートだ。

これから下る日本橋川はJR水道橋
駅近くで神田川から分岐して、隅田川
に注ぐ全長4.8kmの短い川。ツアー
の出発・到着点である常盤橋防災船着
場を離れると、ガイドの宮加奈子さん
の案内が始まる。これが面白い！

まずは常盤橋。日本橋川には「常盤
橋」「新常盤橋」「常盤橋」がある。こ
のうち、一つは「磐」を使い、2つは「盤」
を使う。歴史は「磐」の常盤橋が古く、
縁起を担ぐ江戸っ子が橋の名前に壊れ
やすい「皿」の一字を嫌ったことから、
「磐」が使われたという。

次の一石橋も然り。江戸時代、この
橋を再建する際、金座の後藤庄三郎と
呉服商の後藤縫殿助が費用を折半す
る。庶民は後藤を五斗に変え、五斗と
五斗を加算すると一石になることから
一石橋と呼んだと伝わっている。
へえ〜と感心する人もいれば、ク
スツと笑う人もいる。参加者が打ち解
けた頃、日本橋に着いた。

「舟が橋の下をくぐるアーチの最上
部に獅子のブロンズ像があるでしょ。
これは水上からしか見えないんです
よ」とは船長・石澤真太郎さん。

日本橋川は昭和30年代まで水運が盛
んだった。日本橋以外にも陸からは見
えない凝った装飾の橋は多く、行き交
う船人たちを楽しませようだ。

茅場橋を過ぎ、少しするとパツと明
るくなる。隅田川までの500mほど
だが、頭上から首都高速が離れたのだ。
隅田川に架かる永代橋、中央大橋をく
ぐり、亀島川へ。先ほどの首都高速と
の分岐から隅田川へ流れるし字の小さ
な川だ。南高橋、亀島橋、霊岸橋など
5つの橋が架かっている。

日本橋川に合流後は、出発地へ戻る。
棧橋の接岸前、船長がペットボトルに
日本橋川の水を汲んでみせた。その透
明度を目を丸くする。

「近年、地元が中心になり、日本橋
川の浄化活動を活発に行っているんで
す。今では魚や鳥の姿も見られます。」

活気あふれる日本橋川や水運の亀島川
江戸の記憶をたどる水上さん。ほ



その一方で、首都高速から火のつい
たタバコを川へ投げ捨てる心ない人もいま
すけど」とガイドの宮さん。終始笑
顔だった彼女の顔が一瞬、曇った気が
した。

下船後は、日本橋周辺を歩いてみる。
最初に目指すのは、もちろん日本橋だ。



上ノスタート地点。川も潮の満ち引
ぎに影響される。満潮時にはスタ
ッフが立つ場所が水に浸かること
も。左ノ常盤橋は明治10年(1877)
、江戸城の常盤橋門の石垣で造ら
れた。東京に現存するアーチ橋の
石橋でも屈指の歴史をもつ。川
から見ると橋名を刻んだプレート
が見られる。



瀟洒な装飾の日本橋。初代は徳川家康が江戸幕府を開いた慶長8
年(1603)に架橋され、五街道の基点になった。



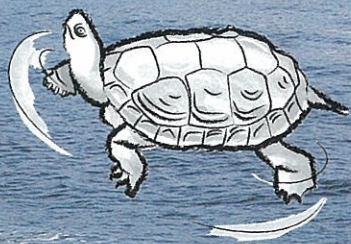
ガイドの宮さんがわかりやすく解説。
マイクとスピーカーを使うので、首
都高の下でもよく話が聞ける。

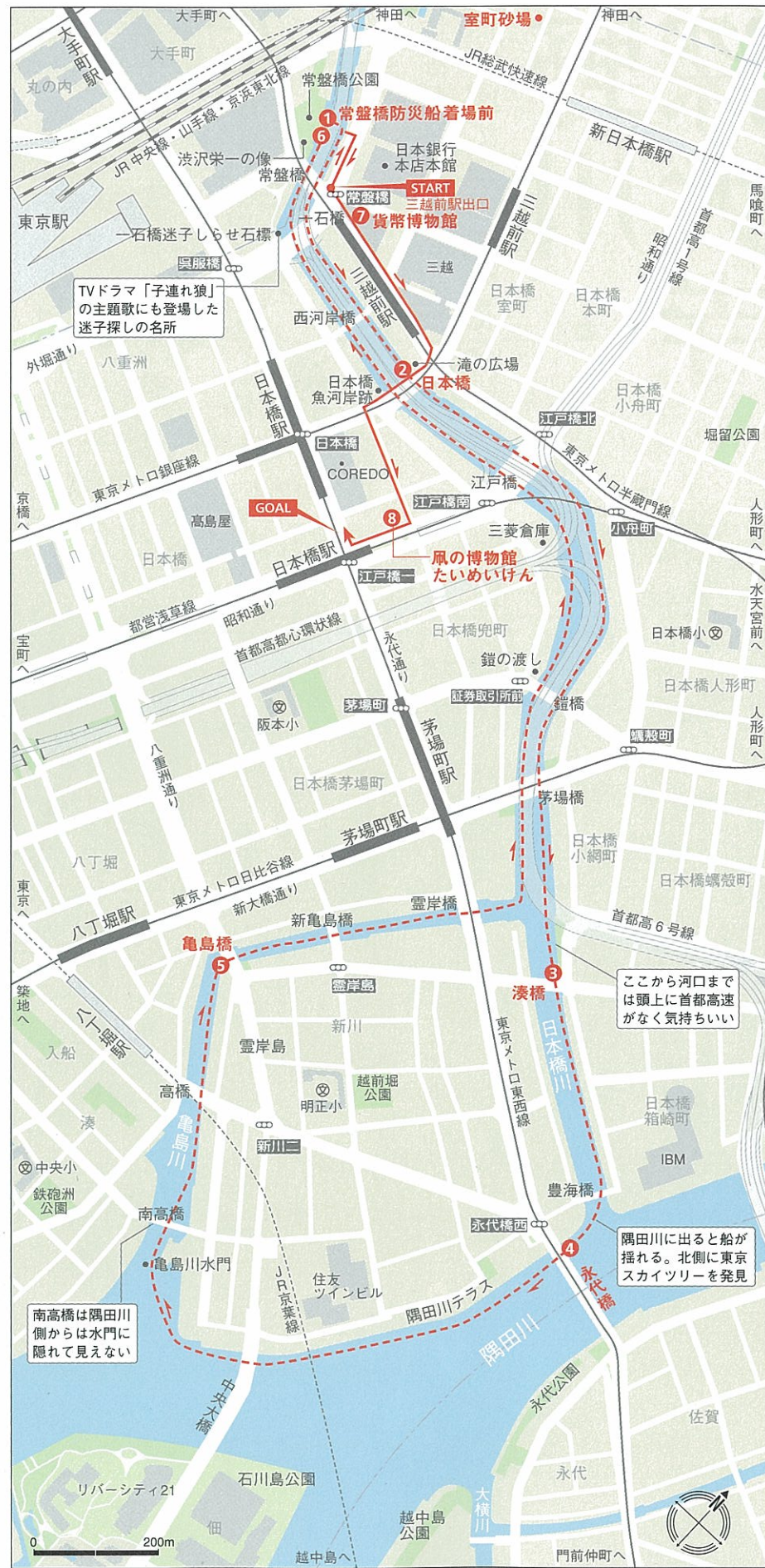


これが日本橋川の水！
陸からは緑色に見える
がそれは藻の影響だ。



亀島川水門をくぐり、小さな亀島川に入
る。広々とした隅田川を航行した後だけ
に大きさの違いを感じる。





- コース6
日本橋川・亀島川
- 所要時間 …… 1時間20分
- 移動距離 …… 6.6km
- アクセス
- 行き⇒地下鉄三越前駅B1出口
帰り⇒地下鉄日本橋駅
- ⑤ 三越前駅
- ↓ 0.1km・2分
- ① 常盤橋防災船着場前
- ↓ 0.4km・15分
- ② 日本橋
- ↓ 1.1km・10分
- ③ 湊橋
- ↓ 0.5km・10分
- ④ 永代橋
- ↓ 1.3km・15分
- ⑤ 亀島橋
- ↓ 2.0km・10分
- ⑥ 常盤橋防災船着場前
- ↓ 0.2km・3分
- ⑦ 貨幣博物館
- ↓ 0.8km・13分
- ⑧ 風の博物館
- ↓ 0.2km・3分
- ◎ 日本橋駅
- ※運行時間およびコースは潮の状況により異なる。

column

日本橋

現在の日本橋は明治44年(1911)築、つまり2011年にちょうど100歳を迎える。当時の51万円(現15~25億円相当)が投じられ、関東大震災や東京大空襲にも耐えた。麒麟や獅子など装飾の美しさも有名で、実に総工費の10%が装飾に充てられた。

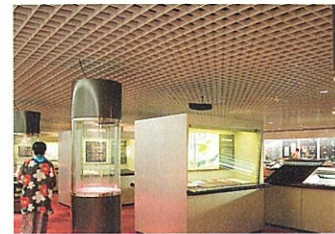


実物や資料を通じて日本の貨幣史を知る

●かへいはくぶつかん

貨幣博物館

古貨幣の収集・研究者である田中啓文から寄贈された10万点のコレクションや、日本銀行が収集した古金銀貨を展示する。通りを挟んで立つ日本銀行旧館は、東京駅と同じ辰野吾吾が設計したネオバロック建築の傑作だ。9時30分~16時30分、月・祝休(土日と重なる場合は開館)。無料。中央区日本橋本町1-3-1 日本銀行分館内 ☎03-3277-3037



世界各国の動きとも比較しながら日本の貨幣史を学べる。



日本橋川は、やがて首都高の下から青空の下へ。明るさのギャップに改めて驚く。

江戸の魅力を再発見する約1時間の小さな旅

●おえどにほんばしふなめぐり

お江戸日本橋舟めぐり

今回紹介したコースをガイドとともにクルージング。ツアーは定員10名(先着順)の事前予約制。運航日は1カ月に10日ほどで、1日1~3便がある。7月は17~23日、8月は3~7日と15~19日に運行予定。参加費2500円。中央区日本橋本町 常盤橋防災船着場前 ☎03-3668-0700(江戸東京再発見コンソーシアム。受付は平日9~17時)スケジュールはHPでも確認できる。

…ちょっと寄り道…

●室町砂場 むろまちすなば

明治2年創業の老舗そば

そばの実の芯だけを碾き、卵でつないだざるそばはほんのり甘くコシが強い。元祖のスタイルを貫く天ざる1550円は、辛口そばつゆにかき揚げが入った状態で供される。11時30分~21時(土は~16時)、日・祝・第3土休。中央区日本橋室町4-1-13 ☎03-3241-4038



●たいめいけん たいめいけん

食通をうならす洋食の名店

1階は洋食レストランで、カレーライス680円などを提供。2階は本格的なコース料理が味わえる。1階は11時~20時30分LO(日・祝は~20時LO、2Fは11時~14時LO、17時~20時LO、無休(2Fは日・祝休)中央区日本橋1-12-10 ☎03-3271-2465



天井から床までズラリ世界の凧3000点が集合

●たこのはくぶつかん

凧の博物館

昭和52年に洋食屋『たいめいけん』の先代主人・茂出木心護が設立。日本全国の郷土色豊かな凧から中国やアジア諸国など所蔵点数は3000点余りに及ぶ。とくに色彩の鮮やかなオリジナルの江戸錦絵凧は一見の価値ありだ。凧の骨組みや揚げ糸、書籍なども販売している。11時~17時、日・祝休。入館200円。中央区日本橋1-12-10-5F ☎03-3275-2704



「日本の凧の会」事務局が置かれ、全国の凧揚げ大会などのイベント情報も紹介。



右上/橋には船人を楽しませるさまざまな意匠が施されている。湊橋には帆掛け船のレリーフ。右下/日本橋は獅子のブロンズ像。左/隅田川の中央大橋にはフランスから贈られたメッセンジャー像が発見できる。ちなみに、隅田川はフランスのセヌ川と友好河川同士である。

